



ITF-JAPAN テコンドー府中道場 40年の歩み



1982年
11月1日 さくらサンリバー1階に、モランボン・テコンドー府中道場がオープン。日本初の国際テコンドー連盟 (ITF) 傘下道場が誕生 (代表: 黄進)
※1年後、さくらサンリバー4階に移転

1983年
7月4日 ITFの認可を受け、世界で76番目の協会となる日本国際テコンドー協会が発足
本部: 東京都府中市 / 本部道場: 府中道場 / 略称: JITF ※現在はITF-JAPANと称す
初代会長: 故全鎮植 (後にITF首席副総裁) / 首席師範: 黄進 (現在師範)

8月 テコンドー演武が初めて行われる (株式会社さくらグループ運動会)。以降、府中地域の様々なイベントで演武を行い、テコンドーの普及と発展に貢献

1985年
3月 第1回昇段審査が府中道場で行われる。※以降、毎年2〜4回実施
黄秀一など、府中道場修練生から初の黒帯が誕生

1986年
9月 故崔泓熙ITF総裁が来日。総裁セミナーが府中道場で行われる。94年、97年にも実施

10月 府中道場がさくらサンリバー5階に移転。全フロアーを使用

1987年
5月 第5回世界テコンドー選手権大会 (ギリシャ・アテネ) に日本選手団初出場
府中道場からは、当時指導員を務めていた徐萬哲をはじめ、西直記、野道秀明などが初参加
徐萬哲がトゥル3段の部で第3位入賞。日本初のメダリストとなる

1988年
4月 第6回世界テコンドー選手権大会 (ハンガリー・ブタペスト) に府中道場から黄秀一、嚴斗一などが初参加

7月 府中市体育協会加盟に伴い、府中市テコンドー協会が発足
初代会長: 故全鎮植 / 2代目会長: 西直記 (同年11月より)

1989年
4月 日本国際テコンドー協会 (ITF-JAPAN) 会長に西直記就任
※会長を兼任していた故全鎮植ITF首席副総裁は顧問に就任

10月 第32回府中市民体育大会秋季大会にテコンドー競技が導入
※以降、毎年府中市立総合体育館にて開催

1990年
4月 第1回全日本テコンドー選手権大会が開催される。※以降、毎年開催
※第3回大会まで府中市立総合体育館にて開催された

8月 第7回世界テコンドー選手権大会 (カナダ・モントリオール) にて、当時府中道場指導員の朴善浩がトゥル1段の部で優勝。日本初の世界大会金メダリストが誕生

1991年
10月 会報誌『月刊テコンドー』創刊。※第1号として府中道場が特集される

1992年
9月 第8回世界テコンドー選手権大会 (朝鮮・平壤) にて、黄秀一がマッソグライト級優勝。日本初のマッソグ世界チャンピオンが誕生

1995年
2月 「日本テコンドーの生みの親」全鎮植ITF首席副総裁逝去

9月 第27回昇段審査にて、野道秀明が師範昇格

1998年
9月 第33回昇段審査にて、朴禎賢、黄秀一が師範昇格

1999年
9月 第35回昇段審査にて、金一國が師範昇格

2000年
5月 府中市テコンドー協会会長に故稲垣三男就任

2002年
6月15日 テコンドー創始者、崔泓熙ITF総裁逝去

2003年
9月 第43回昇段審査にて、嚴斗一、朴ソフファ、後藤正巳が師範昇格

2004年
9月 第45回昇段審査にて、佐藤元が師範昇格

2005年
9月 府中道場がさくら三番館5階に移転

2006年
7月 府中市テコンドー協会会長に青柳勉就任

2007年
4月 第15回世界選手権大会 (スロベニア・ブレッド) にて、第13期内弟子として府中道場で修練していた姜昇利がトゥル3段の部で優勝。15年ぶりに世界大会金メダリストが誕生した

2008年
1月 第52回昇段審査にて、徐萬哲が日本で2人目となる7段、師範に昇格

9月 第53回昇段審査にて、磯村創が師範昇格

2009年
9月 第55回昇段審査にて、朴禎祐が師範昇格

2010年
4月 府中道場がさくら食品館3階に移転 (府中市府中町1-7-2)。京王線府中駅から直通となる

8月 第4回世界ベテラン選手権大会にて、黄秀一がマッソグ-64kg級優勝、佐藤元が-71kg級準優勝

2011年
2月 第22回全日本テコンドー選手権大会にて、蘇秉秀が2年連続MVP獲得

2012年
1月 第60回昇段審査にて、黄大勇、蘇秉秀が師範昇格
黄大勇・蘇秉秀 師範任命祝賀会

8月 第22回ITF総会にて、黄進首席師範がテコンドー最高段位である9段に昇段し、日本初の師範に任命される。

11月 府中道場30周年記念祝賀会が行われ、多くの関係者、稽古生たちがお祝いに駆けつけた

2013年
7月 テコンドー協会30周年記念祝賀会。全国各地の師範たちが参列した

2014年
4月 府中道場交流練習試合

2015年
2月 第26回全日本テコンドー選手権大会にて、黄大勇がマッソグ-78kg級優勝
第26回全日本テコンドー選手権大会にて、木村志穂がMVPを獲得

9月 第67回昇段審査にて、黄秀一が師範任命

2016年
8月 府中道場少年部合宿

9月 第7回世界ベテランテコンドー選手権大会にて、市川裕英がMVP獲得

2017年
10月 ITFチェコ選手団、府中道場訪問、合同練習

12月 府中市第7小学校、テコンドー体験会・演武

2018年
7月 府中片町文化センターテコンドー演武

2019年
2月 さくらグループ感謝の集いの席で、テコンドー演武を披露

7月 全日本ジュニアテコンドー選手権大会2019にて、稲葉勇利が技能賞を獲得

11月 第62回府中市体育大会 テコンドー競技 開催

2020年
1月 西直記録会長、77歳お祝いの会

10月 府中道場、交流練習試合

2021年
10月 府中公園テコンドー演武

2022年
1月 第80回昇段審査にて、黄大勇が5段に昇段
第80回昇段審査にて、川田悠世が副師範に任命

11月 府中道場設立40周年



I.T.F.-JAPAN TAEKWON-DO NET Special

テコンドー通信特別号

東京・テコンドー府中道場 40周年記念特別号 制作/監修: 日本国際テコンドー協会



テコンドー府中道場 祝 40周年！！

1982年11月1日、東京都府中市住吉町にあった旧さくらサンリバービル1階にオープンした府中道場は、日本で初めてできたITFテコンドー道場として、40周年を迎えました。

日本国際テコンドー協会本部道場の役割を担いながら、40年の歳月を数多くの稽古生たちと共に歩んだ府中道場。優秀な指導者たちを育成し、日本各地にテコンドーを普及してきた礎として、今後もさらなる飛躍が期待されます。



さくらサンリバー時代 1982年11月～2005年8月

さくら三番館時代 2005年9月～2010年4月

さくら食品館時代 2010年4月～2022年11月現在

ごあいさつ



日本国際テコンドー協会
代表理事・師範
府中道場責任者

黄 大勇

テコンドー府中道場は、2022年11月1日をもって設立40周年を迎えることができました。これもひとえに道場を支えてくださった先生方や稽古生の皆様、応援してくださった方々のお力添えがあってこそその成長、発展であり、ご支援くださった皆様には心より感謝申し上げます。

府中道場は日本で初めて設立されたテコンドーの道場です。東京・府中を起点に、着実に広がり、現在では日本各地で道場が開設されています。

第一号となる府中道場では、多くの稽古生たちがテコンドーを学び、修練を積みました。その歩みの中で優秀な指導者たちが育ち、彼らが各地でテコンドー道場を新たに設立し、指導しています。私も少年時代より府中道場で学んだ一人です。

また、40年の歳月の中で、様々なイベントが催されましたが、メインイベントである全日本テコンドー選手権大会では、チャンピオンたちを多数輩出しました。さらには、大きな舞台である世界大会でも多くのメダルを獲得、世界チャンピオンも誕生しました。

私は、府中道場40周年を迎え、多くの先輩方の情熱と努力が刻まれた歴史ある道場を任された者として、その志を受け継ぎ、身を引き締めて責務を全うしたいと決意を新たにしております。

テコンドーは修練を通して、健全な心と身体を磨き、人格形成の一助となる素晴らしい武道だと思います。今後も青少年の育成を通じて、微力ながら社会に貢献できるように努めていきたいと思っております。